

令和3年度「通信数学」シラバス

校長	教頭	教頭

科目名	通信数学			教科名	工業（情報通信系列）
学年	2年	単位数	1単位（35時間）		

1 科目「通信数学」について

学習の到達目標	(1) 国際単位系について理解させる (2) 三角関数について理解させる (3) 2進数の表現と論理について理解させる (4) 論理回路について理解させる (5) プログラミングの基礎について理解させる
使用教科書	なし

2 科目全体の評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
情報化社会におけるネットワークの重要性を理解し、コンピュータ内部のデータがどのように処理されどのように動作するかについて関心を持ち、情報化社会の発展に貢献しようとする態度を身につけている。	コンピュータに関する知識の適切な活用法を判断し、情報化社会に関する諸問題の解決を目指して論理的思考を深め、創意工夫する能力を身につけている。	データ通信の基本的な技術を身につけ、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現できる。	情報化社会におけるネットワークの役割を理解し、データ通信に関する基礎的な知識を身につける。
出席状況、提出物 学習態度、自己評価	ペーパーテスト 観察力	発表表現能力 文章表現能力	ペーパーテスト レポート内容

3 観点別学習状況の評価の数量化

評価	内容	判定基準	得点
A	十分に理解できていると判断されるもの	80%以上	3
B	おおむね満足できると判断されるもの	50%～79%	2
C	努力を要すると判断されるもの	50%未満	1

4 各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスで記載する。また、5段階評価においては以下の通り

評価内容	100点法	5段階評価
十分満足できると判断されるもののうちで、特に高い程度のもの	100～81	5
十分満足できると判断されるもの	80～66	4
おおむね満足できると判断されるもの	65～51	3
努力を要すると判断されるもの	50～35	2
努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの	34～0	1